



学校だより

横浜市立末吉小学校

令和2年度

10月号

「ジュニア末吉カップ」 & 「末吉カップ」

学校長 本庄 則子



朝晩だけでなく、教室の窓から吹き抜ける風もようやく涼しくなってきました。子どもたちのマスクを通しての挨拶も元気がよくなってきています。今年は、「目は口ほどにものを言う」を強く実感することが多いです。昨年までは挨拶の声の大きさやトーンで様子がわかったのですが、今年は口元が見えません。声よりも、マスクの上に見える子どもたちの目で、今日は嬉しそう、元気でいつもと変わらないかな、何か困ったことがあった？などを感じることができています。そして挨拶を交わすときには、今まで以上に一人ひとりの顔をよく見るようになりました。

子どもたちが元気になってきたのは、休み時間に校庭で遊ぶ様子や運動会「末吉カップ」の準備・練習の様子でも感じられます。運動会の開催については悩んだところですが、校庭を使用するため、工夫次第で三密を避けて実施可と考えました。具体的には、

- プログラムの工夫・・・午前中開催で種目を少なくする。(短距離走と競技,6年生は短距離走と演技)
赤白の対抗戦ではなく、団体競技ごとに勝敗をきめる。
- 密を避ける工夫・・・児童全員が校庭に出て競技を見合う「ジュニア末吉カップ」(平日)と保護者が参観する「末吉カップ」(土曜)の2日間開催とする。
本年度は保護者のみ参観とし、参観の日は、児童は教室待機とする。
学年ごとの団体競技は、密にならないようにルールを工夫する。
- 熱中症感染症対策・・・当日参観される方の名簿が作成できるようにする。
(チケットに名前を書いた方のみ入場)
水筒とは別に校庭用のペットボトルの水を準備する。(土曜) など。

当日、安全・安心で笑顔になれる、思い出に残る運動会を目指して、PTA役員の方々のご協力もいただきながら、日々、準備を進めています。

さて、今年度のスローガンは、

「 光かがやけ 末吉の星☆ 笑顔 協力 末吉カップ! 」

末吉カップ実行委員長に聞いたところ、「いつもとはちがう運動会になるけれど、みんなが輝けるように、緊張感をもってがんばりたい。赤白はないけれど、応援団やリレーもあるので、いつもの末吉カップと同じ、変わらない気持ちでがんばりたい。」と、力強く話してくれました。6年生の頼もしさに嬉しくなると共に、がんばっている子どもたちを教職員一同でしっかりと支えていかなくては、とあらためて心に誓いました。

皆様のご協力も、どうぞよろしくお願い申し上げます。